

発達障害の特性理解とキャリアコンサルティング実践トレーニング

検討課題用ワークシート

※所要時間30分程度

記入上の注意

1. このワークシートは自分の考えを整理することが主な目的です。
2. 提出不要ですが、書いた結果を見ながらディスカッションする場合があります。
3. 正しいとか間違ったという視点ではなく、素直に思ったことをメモしてほしいと思います。

検討課題1

次の問いかけに対する答え・自分の考えを空欄に記入してください。

- 同じミスを繰り返すとか、何かに夢中になると、それ以外のことができなくなるなど、「このような人に出会ったことはありませんか」のスライドで示された特徴のうち、自分でも当てはまりそうなものはありましたか。
- それは常にですか、それとも体調がすぐれないなど、余裕がない時のことですか。
- これらの特徴を全く持たない人を知っていますか。

検討課題2

発達障害を有する人に仕事を依頼する時、次のそれぞれについてメリット／デメリットを考えてください。

- 責任の軽い業務や簡単な作業の依頼
- 得意な業務の依頼
- 不得意な業務の依頼

検討課題3

何を、どこまで対応したら合理的配慮をしたことになるのか判断に悩むことも多いと思います。次の場合はどうでしょうか？

- 車いすの人のために、全ての階段にスロープを併設する。
- 発達特性による影響のある人に対し、仕事の指示は口頭だけでなく文字(文書、メール等)でも伝える。

検討課題4

発達特性による影響のある人に何らかの支援をする場合について検討します。自分は相手に対してどのようなスタンス(人間観)を持っているのかを点検するために例を示します。同意できるものはありますか。

- 支援職に就いた以上、それが自分の仕事。
- 可哀そうな人を助けるのは当然。
- 人はみな同じく働く権利を有するのだから、それを阻害しないために支援する。

検討課題5

近年、多様性を尊重する声が様々なところで聞かれるようになりました。自分は多様性を尊重しているのかどうかを点検するために、次のことが当てはまるかどうかを考えてください。

- みんなと違うところにばかり目が行く。
- みんなと違うことは気にならない。
- 一人だけ違う主張をする人は苦手だ。

検討課題6

自閉スペクトラム症や注意欠如・多動症では、突然パニック状態になることがあります。中には手足がブルブル震えて痙攣しているように見えることもあります。工作中、そのような状況になったらどうしたらいいと思いますか。

検討課題7

発達特性による影響のある人に対し、次の言い方は避けた方が良いとされます。
「普通は〇〇ですよ」
「そんなことをいうのはあなただけです」
なぜだと思えますか。また、どういう言い方がいいのか、適切な言い換えを考えてみてください。

検討課題8

職場に発達障害が疑われる人がいた場合、どのように声をかけますか。
次の声かけは適切だと思いますか。
a. 「もしかして発達障害ではないですか」と指摘する
b. 発達障害の診断を勧める

検討課題9

私たちは無意識のうちに「普通はこうだろう」という考えを持っています。それ自体は悪くありませんが、無意識の思い込みが働いている状態を「アンコンシャスバイアス(無意識の偏見)」と呼びます。これは「偏ったあたりまえ」を生んでしまいがちです。
この点検のために次の表現について考えてください。これらは「あたりまえ」だと思いますか？

「子供の相手は女性に任せるのがいい」

「職場で集団行動ができない人は困る」

検討課題10

発達特性による影響のある人と会話する際、具体的で明確な話し方を心がけることが良いとされます。次の話し方を、具体的で明確な話し方にするとしたらどういう例が考えられますか。

- 「すぐに」
- 「確認してください」
- 「よろしくお願いします」
- 「余裕があったらやってほしいのですが」

「すぐに」

「確認してください」

「よろしくお願いします」

「余裕があったらやってほしいのですが」